

3 月 月 間 賞 ビ ブ リ オ エ ッ セ ー 選 考 会

産経新聞 令和 2 年 (2020 年) 4 月 25 日 (土)

本にまつわるエッセーを募集し、夕刊1面とWEBサイト「産経ニュース」などで掲載している「ビブリオエッセー」。皆さんのとっておきの1冊について、思い出などとともにつづっていただき、本の魅力や読書の喜びをお伝えしています。3月の月間賞は、大阪府泉佐野市の車野喜咲さん(20)の『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』に決まりました。ジュンク堂書店のご協力で図書カード(1万円分)を進呈し、プロの書店員と書評家による選考会の様子をご紹介します。

私たちにできることは

この絵本を読んでバイト先のこと
とがよみがえった。
私はコンビニでアルバイトをして
いる。空港が近いため海外から
のお客さまも多い。その日もマニ
ュアル通りの丁寧な接客をしてい
ると、美男美女の外国人カップル
がレジ前にやって来た。
かなり商品を買っておられたの
で一番大きなレジ袋に入れようと
すると、男性が「ノー、バッグ
!」と言い、ポケットからエコバ

3月の月間賞

ッグを取り出して商品を入れ始め
た。
「エコバッグは当たり前やん」
と思う方もいるかもしれないが、
袋が有料だったりポイントが付い
たりするスーパードラッグストアならエコバッグ
を持つ人も少なくないだろう。し
かし、うちのコンビニはそのよう
な対策がまだないため、1本のペ
ットボトルに袋を欲しがらるお客さ
まがたいて多い。
この絵本に登場するのは南米ウ
ルグアイのホセ・ムヒカ元大統
領。2012年、地球の環境と未
来を議論した国連会議で行き過ぎ
た消費、浪費社会を批判し、本当
の幸せを問うかけ、こう語った。

「貧乏とは少ししか持っていない
ことではなく、無限に欲があ
り、いくらあっても満足しないこ
とです」
絵本にはスピーチが全文掲載さ
れているが、この言葉を聞き、日
本は貧乏な国だと思った。エコ
バッグを持てばいいだけなのにわ
ざわざ袋をもらう。プラごみが問
題視されているのに、まだ他人事
だと思っている人が多いのではな
いだろうか。
この夏からほとんどのお店でレ
ジ袋が有料化されるが、これから
はバイト先でも積極的に声をかけ
てプラごみ削減に貢献したいと思
う。

● 喜びの声

大阪府泉佐野市 車野喜咲さん (20)

今だからこそ読み返したい本



ムヒカさんは笑顔の素敵なお
じいちゃん、こういう人が上
に立ってほしいですね。大統領
時代は古い車で仕事に通い、質
素な生活を実践されていたこと
にも感激しました。スピーチは

文明や環境問題の本質をやさし
い言葉で鋭く語っていて、私た
ちが生活を変えていく必要性を
感じました。大変な時期だから
こそ読み返したい本です。今回
は祖母がとても喜んで、掲載記
事を切り抜いて額に入れてくれ
たそうです。そして再び。感謝
でいっぱいです。